



# 樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校  
〒080-2473  
北海道帯広市西23条南2丁目12番地  
TEL : 0155 (37) 5501  
発行日 令和5年1月31日

## 共通テスト終了～本校から124名受験

1月14・15日の両日にわたって共通テストが行われ、無事終了しました。本校からは124名が受験しました。依然としてコロナ禍が続く中で共通テストということで、受験対策のみならず感染症予防にも気を遣いながらの受験でした。受験生の皆さん、そしてご家族の皆様、本当にお疲れ様でした。

本校では21日、進路検討会で予備校等からの情報をもとに入試動向を確認。受験した生徒一人一人について状況を確認しました。これを最終的な受験校選択の際の指導に役立てていきます。

佐藤明彦進路部長は今年の状況について、次のように述べています。「今年の共通テストは、理科で難化した教科があったものの、全体としては昨年よりも平均点が上がりました。その中で本校ではしっかり点数を取り切れた生徒も多く、校内平均点も全国を上回る科目が増えたことは大いに評価できます。進路検討会でも、前向きな検討を多くすることができました。国公立大入試に向け、各大学の個別試験の教科や配点・特徴を踏まえ、前期だけではなく中・後期も積極的に出願し、最後まで粘り強く頑張る合格を勝ち取ってほしいです。そのために



【2次試験対策に励む生徒たち】

講習や面接・小論文指導で学校全体でサポートしていきます。」  
国公立入試2次試験の出願は2月3日（金）までとなっています。また私大受験も始まっています。コロナ対策を徹底して最後まで頑張ってください。

### 全国高校スケート選手権 女子学校対抗で初優勝

21・22日に群馬県渋川市で開催された全国高校選手権スピードスケート女子学校対抗で見事、初優勝を果たしました！個人でも河原莉緒さんが1000mで、小島楓さんが1500mで優勝を果たすなど、三条旋風を巻き起こしました。

3年生はこの大会で引退となりますが、1・2年生は2月にある全国高校選抜競技会に向けて調整が続きます。引き続き頑張ってください。

【十勝毎日新聞社提供】

### 1年次家庭科で金融教育

先月、1年次家庭基礎の時間で、ゆうちょ銀行から釜野歩さん、天羽達也さん、日本郵便から佐々木淳さんをお招きして金融リテラシー講座を実施しました。

これは新たな学習指導要領では高等学校家庭科の授業で金融教育が強化されており、その一環としてライフプランニングや家計管理、資産形成などについて学び、さらに昨今社会問題となっている金融トラブルについても理解を深めようとするを目的としたものです。1時間目は講義、2時間目は自分のしたいことを設定し、それにはどのくらい費用がかかるのかを試算し、それをどう捻出するのかをグループに分かれて考え、発表しました。佐々木さんは「生徒さんたちはみな真剣に考えてグループワークをしてくれました。ぜひ収入の1割を貯蓄にまわすことを忘れないでほしいです」と話していました。家庭基礎では、月末には帯広市消費者被害予防教育講座を予定しています。

節電運動結果	今回も11月に続き、3ヶ月連続で目標を大幅に上回る成果をあげることができました。引き続き節電に努めましょう。	<b>12月</b>
	昨年度	21,894kWh
	目標(-10%)	159,704kWh
	<b>今年度</b>	<b>19,094kWh</b>

## 迎春 番外編 俳優・作家 佐藤二葉さん

### 自分の「好き」を貫いてほしい

#### ◇ギリシア悲劇との出会い

私は三条高校卒業後、国際基督教大学に進学しました。でも「これを大学でやろう」という思いがあって入学したわけではありませんでした。最終的に演劇をしたいと思っていましたから、芝居をしたり演劇を作ったりするのにいい学問に出会えたらいいなと思って進学したのですが、そこで西洋古典学に出会いました。これは今から2000年以上も前の古代ギリシアやローマといった地中海地域の文学や芸術全般に関わる学問なのですが、その中でギリシア悲劇という演劇のジャンルに出会います。私たちが今、これが演劇だと思っている要素のほとんどが、この2500年前のアテネで花開き成熟したもののの中にあるのです。授業で、その後恩師となる先生が『オイディプス王』という悲劇の構造や筋立てを説明していたのですが、私は雷に打たれたような衝撃を受けました。「こんなにおもしろいものはこの世にない」と思ったのです。そして自分もこんなおもしろいものを作りたい、再生産したいと思って、西洋古典学をやるぞーと決めて学んでいたら、いつのまにか大学院で一日中死んだ言葉を読み続けていました。古代ギリシア語やラテン語は、現在生きている人間が生きた言語として使っている言葉ではありません。そんな中で、ふと、「演劇をやりたいと学んでいたはずなのに私、何やってるんだろう」と思ってしまったのです。それで、大学の先生や周囲は止めましたが、私は大学院をやめて演劇の学校に入り直すことにしました。



#### ◇漫画を描くきっかけ

私は演劇を作る側になりたいと思っていたので、舞台演出コースに進み2年間学びました。その後はギリシア悲劇を自主公演したり、外部の演劇の演出をしたりと演劇を中心に生活をしていました。実は私は絵を描くのが好きだったので、古代ギリシアをテーマにした絵を描いてインターネットに放流（ネット上に公表）していました。それに目を留めてくれた出版社の編集者がいて、「漫画描いてみませんか」と声を掛けてくれたのです。それで描いたものが『うたえ！エーリナ』（星海社コミックス）です。

その一方で、趣味で小説を書いたりもしていて、漫画同様にインターネットに放流しておりました。最初の漫画の担当者さんがそれを読んで、「非常におもしろいし、力もあるから、次に小説書いてみませんか」と声を掛けてくださり、それで書いたのがファンタジー小説の『百島王国物語』（星海社）です。

このように自分の好きなことを今、仕事に出来ているのですが、それは本当に不思議なご縁につながってできたものなのです。私はこれをやりたいと言って一つのことをコツコツやっていたというより、興味をもったことを少しずつ広げていく中で、努力したものがちよつとずつ実になってきたという感じです。

#### ◇つらいこともいつかは自分の糧に

高校時代は本当にぼんやりした生徒で、演劇部に所属していましたが、何をしていたのか思い出せないほどです。10代の頃は本当に貴重な時間だと思うのですが、自分がそのただ中にいる時って、それがどれほど大切なのかかわからないと思うんです。だから大切にしろと教訓めいたことを言いたいわけではなくて、この時期の心って本当に柔かい時期なんです。歳をとっていくと社会の荒波にもまれていくうちに、心が傷だらけの

ポロポロになってしまうので、ある程度自分の心を守る術を身につけていくものです。でも、無防備な心の時に得る喜びであるとか苦しみとかは、今、自分がものを創る仕事をする上でとても大きな糧になっていると思っています。ですから、今、すごくつらいことがあったり、ものすごく苦しい経験をするところがあると思うんですが、いつか全部糧になると思うんです、すごく教訓めいて嫌な感じがするんですけど、ダメージを受けている時、それがいつか自分の宝物や武器になると私は思うようにしているんです。

#### ◇好きなことを仕事にすること

好きなことを仕事にすることとは、とても楽しいことなのですが、同時にめっちゃ苦しいことでもあります。ものを書く仕事を例にすると、仕事と趣味の境目がなくなります。無くなるので、大好きだったものが一番自分を傷つけるものにもなってしまいます。私の場合、本が大好きだったので本屋さん大好きなのですが、今、本屋さんに行くところまで自分の本がどう陳列されているのかとか気にしてしまうようになりました。大好きだった場所が戦場になってしまうんです。映画をみてもお芝居をみても、すっかり「お客さん」となって純粋に楽しむ、ということはずっと、つい演出を分析しながら鑑賞してしまいます。24時間ずっと仕事の延長になってしまいました。さらに、今はインターネットの時代なので、心ない声にぶつかることも多いです。それに対する精神的な防御の術を持つことが必要なのではないかと思います。これからの時代は自分を守りながら自分自身をどう発信していくべきなのか、ぜひ皆さんと一緒に考えていきたいです。

そうはいつでも、やっぱり冒険した方が生きている感じがします。明日生きていけるのだろうかというくらい打ちのめされたり、悲しくて苦しい気持ちになることもあるんですが、そんなリスクを負って自分の人生を賭けると得られる喜びもすごく大きくて、生きている充実感があるのです。自分のやりたいことを見つけられるのは幸せです。やりたいことがバーンと見つかる人もいれば、これかもしれないと色々な積み重ねの中からつかむ人もいるかと思うのですが、自分を見失わないことが一番大事なのかと思います。

世の中って流行がありますよね。みんながいいと言っているから、映画や本など、これを観よう決める人は多いと思います。しかし、本当に好きなものはなかなか人に言う事ができない、ということもあると思います。保護者や先生、友人たちに、これを好きだと知られたらどうしよう、というものが好きだという事もあるはずですが、でも周りに流されずに、みんなはこういうけど私はこう思うんだよねっていうところを大事にしてほしいです。それは自分の芯になります。だって、みんなが同じものが好きだと新しいものはいつまでもできないんです。

なんにせよ、私はこれが好きというものがあると、仕事をする上でもあるいは生きていく上でも、何か信じるものがあつたり対話をする相手がいる状態になるので、たとえ周りに認められなくても、自分が好きなもの惹かれるものを大事に守ってもらいたいな、と思います。

